

## 水に守られる生命

地球の七割は海と言われるように、地球は水の惑星です。しかし、飲料水として使える水はごくわずかで、世界には水不足やきれいな水が飲めないなどの、水に関する問題が多に残っています。他国と比べると、私達日本人は水に対して無関心な傾向があると思います。なぜなら、日本は海に囲まれており、年間降水量も多く、蛇口をひねればいつでも勢いよく水が流れてくる、このような環境では水について深く考える機会は自然と少なくなっていくように思います。しかし、いつでもきれいな水がでてくるという環境は、とても幸せなことなのです。あたりまえに感謝しようという言葉をよく耳にしますが、その通りだと思います。なぜなら、水は生命の源だと言っても過言ではないほど、生命にとって重要な役割を果たしているからです。

奈良県立青翔中学校 一年

鍵本 圭斗

人間の六十%は水でできています。また、人間は水を飲まないと、一週間で死んでしまうそうです。それは、人間だけではなく、虫も、魚も、全ての生物にとっても同じことが言えます。水を飲むことは、生きるための手段なのです。

私達人間は、主に川の水を飲み水にしています。昔から、田に水をひいたり、魚を釣ったりと、川と共に文明は発達してきました。しかし、高度経済成長期に、生活が豊かになった一方、川の環境は一変し、美しかった日本の河川はまたたく間に汚れてしまい、悪化の一途を辿りました。川岸にはゴミが捨てられ、生活排水によって水は汚れ、魚のすめない、死の川となりました。工場の化学物質が川に流れると、近隣の住民は次々に病気になるようになりました。また、一見きれいな川でも、川

の中を覗くとたくさん外来種生物がいます。大和川は、汚い川として有名ですが、その理由は、下水道の普及が遅れているなど、やはり人間が原因で汚くなっているようです。しかし、私達が壊した自然は、私達の手で修復することも可能です。大和川も、ゴミ拾いなど地域の人達の協力によって、水質は改善されました。清流にしかすまないアユの産卵も確認され、少しずつですが、川の自然は回復しているそうです。僕が以前、地域の清掃活動に参加した時、おどろいた事があります。それは、捨てられているゴミの多さです。最初は、大型のゴミ袋なんていらないうと、思っていました。十分位でゴミ袋がパンパンになりました。これほどゴミを捨てる人がいることに、ショックを受けました。

普段の生活を意識するだけで、川はきれいになります。それは、川にゴミを捨てないという直接的なことだけでなく、歯を磨いている時や手を洗っている時に小まめに水を止めることや、しょう油や油を直接流さず、また分量を考えて料理を作ることなど、少しの気づかいで、自然は守ることができます。

川の水がなくなってしまうと、飲み水がなくなってしまう、生活出来なくなってしまう。それほど、私達は川に頼って生きており、川と私達の関係は深いものです。

川の環境を変えてしまったのは、私達人間です。だからこそ、私達は責任を持って自然を守っていかなければなりません。一度壊してしまつたものを元にもどすことは大変なこともかもしれました。しかし、一人一人が水に對してありがたみを持つことで日本の川は復活すると思えます。大昔から今まで引き継がれて来た川の生態系を守っていくために、私達の川なんだという自覚と責任を持って生活していかなければなりません。世界中の人々が同じ思いを持つことで、世界の水に関する問題は解決していくと思えます。